かけはし

伊賀市立三訪小学校
2026年9月28日 No.7
発行責任者 青山 幸輝
QRコード：三訪小HP

全国学力・学習状況調査の結果について

4月に実施した全国学力・学習状況調査は、児童の学力や学習の状況を把握し、今後の学習指導や学校運営の改善に生かすことを目的として、全国の6年生を対象に実施されています。本校では、調査結果を学力数値として活用するだけではなく、児童一人ひとりのよさや課題を把握し、よりよい授業づくりや教育活動の充実につなげています。今後も、子どもたちが主体的に学び、自ら考え行動する力を育むため、学校と家庭が連携しながら教育活動を進めていきたいと考えています。

【国語】・・・正答状況は、全国と比べて上回っている

☆よくできていた問題

○漢字の読み書きや語句の意味を問う問題…「語句『工夫』の意味 漢字『短い』『不思議』」
○物語文や説明文を読んで内容を理解する問題…「文章の内容として正しいものを選びましょう。」
○文章の中から必要な情報を見付ける問題…「文章中の言葉の意味として正しいものを選びましょう。」
○登場人物の気持ちや筆者の考えを読み取る問題…「登場人物の気持ちとして最も適切なものを選びましょう。」

★間違いが多かった問題

○文章を読んで、自分の考えを理由や根拠とともに書く問題
○複数の資料や文章を比べて共通点や違いを説明する問題
○条件に合わせて文章をまとめる記述問題…「文章を読んで、あなたの考えを書きましょう。その際、文章の内容を根拠として用いましょう。」

国語では、漢字や語句などの基礎的な力が身に付いており、文章の内容を読み取る問題で力を発揮していました。また、物語文や説明文を読み、登場人物の気持ちや筆者の伝えたいことを理解する力が育っていることがわかりました。

その一方で、文章を読んで考えたことを自分の言葉でまとめたり、理由や根拠を示しながら伝えたりする力では、さらに力を伸ばしていく必要があります。今後は、読んだことについて考えを伝え合ったり、自分の思いや考えを文章にまとめたりする活動を大切にしながら、表現する力を培っていきたいと思います。

【算数】・・・正答状況は、全国と比べてやや下回っている

☆よくできていた問題

○四則計算（たし算・ひき算・かけ算・わり算）の問題
○数量や単位に関する基本的な問題…「長さや重さ、時間の単位を求めましょう。」
○図形の性質や特徴を理解して答える問題…「図形の名前を答えましょう。」
○学習した方法を使って解く基本的な問題…「表やグラフを見て数値を読み取りましょう。」

★間違いが多かった問題

○問題文から必要な情報を整理して考える問題
○複数の条件をもとに解決方法を考える問題
○式や答えだけでなく、その理由や考え方を説明する問題…「どのように考えて答えを求めたのか、式や言葉を使って説明しましょう。」

算数では、計算や図形などの基礎的な学習内容が身に付いており、これまでの学習の積み重ねが成果として表れていました。基本的な問題に粘り強く取り組み、正しく解答できる児童が多くみられました。

また、学習したことを活用して自分の考え方や解決までの道筋を説明する問題では、さらに力を伸ばしていくことが必要であるとわかりました。今後は、「なぜそう考えたのか」「どのように解決したのか」を友だちと伝え合う活動を取り入れながら、考える力や説明する力を育てていきたいと考えています。

【児童質問紙】

☆強みとしてみられるン

本校児童は、学校生活や人間関係に対して前向きな傾向がみられました。

○「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答した児童が 95.2%でした。
○「友だち関係に満足している」は 90%を超えています。
○「人の役に立つ人間になりたい」は 100%が肯定的に回答しています。
○「いじめはいかなる理由があってもいけない」は 90%以上が強く肯定しています。
○「人が困っているときは進んで行動できる」「互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる」についても高い肯定的回答がみられました。
○「先生がよいところを認めてくれている」
○授業で分かるまで教えてくれている」
という回答も高い数値が出ていました。

★課題としてみられる点

《生活習慣》

○「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と回答した児童は約4割にとどまりました。
○「毎日同じくらいの時刻に起きている」も全国平均と比較するとやや低い状況です。

《学習習慣》

○平日の家庭学習時間は 30分から 1時間未満の児童が多く、十分な学習時間の確保が課題です。
○読書習慣については、「ほとんど読まない」「図書館利用が少ない」児童が一定数みられます。
○「分からないことを自分で調べたり学び方を工夫したりできる」の肯定的回答は約7割であり、主体的に学ぶ意欲をさらに伸ばす必要があります。

《学習面の傾向》

授業に対する意欲は高い状況です。
○「課題解決に向けて自分で考え取り組んでいる」
○「話し合い活動を通して新たな考え方に気付くことができる」
○「学習内容を振り返り次の学習につなげている」 など、多くの項目で高い肯定的回答がみられました。

教科別では、
○国語については「内容がよく分かる」100%、「将来役立つ」90%以上でした。
○算数についても「内容がよく分かる」約90%、「将来役立つ」100%となっています。

【今後の取組】

今回の結果を踏まえ、「主体的に学ぶ力の育成」「自己肯定感の向上」「読書活動の推進」「家庭学習習慣の充実」「規則正しい生活習慣の定着」「相談しやすい環境づくり」等を重点課題として取り組んでいきます。さらに、学校では児童一人ひとりのよさを認めながら、主体的に学び、自ら成長できる力を育んでまいります。ご家庭におかれましても、生活リズムの確立や学習・読書環境づくりへのご協力をお願いいたします。